

「キャリア教育」研究指定校

大津町立大津中学校

1 研究主題

自ら未来を切り拓く力を身につけた生徒の育成
～キャリア教育の視点に基づく、全ての教育活動の推進を通して～

2 研究主題について

本校では、研究主題にある「自ら未来を切り拓く力」を、「社会に出て自立して生き抜いていくために必要な資質・能力」と捉え、キャリア教育の4つの資質・能力（「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」「自己理解・自己管理能力」「キャリアプランニング能力」）を踏まえて、「つながる力」「解決する力」「見つめる力」「計画する力」と設定しています。

また、副主題にあげている「キャリア教育の視点」とは、「5年後に社会で自立できる生き方を育む視点」と捉えて、実践を積み重ねてきました。

3 研究推進の経緯と基本的な考え方について

本校では、大津町学校教育ビジョンの基本理念である「夢を持ち、夢を育み、夢を叶える教育実践」を踏まえ、学校教育目標を「自主・自律・挑戦」と定め、キャリア教育の視点に基づいた教育活動を展開しています。

具体的には、『解決する力』を伸ばす、探究的な学びのある総合的な学習の時間の実践、『見つめる力』・『計画する力』を育む、要としての特別活動の実践、『つながる力』を高める、授業改善の3つを視点とし、研究を進めて参りました。

今年度は、それらの取組に加え、「校内ハローワーク」の取組等の充実や「4つの資質・能力を働かせている具体的な生徒の姿」を設定した検証改善サイクルの工夫等に重点的に取り組み、「解決する力」「見つめる力」「計画する力」「つながる力」の育成を目指し、生徒一人一人のキャリア形成につなげていきたいと考えています。

また、これらの取組を推進していくことで、「熊本のすべての子供たちが、『学ぶ意味』を問いながら、『能動的に学び続ける力』を身に付けることを目指す」とする「熊本の学び」の理念の実現に迫っていききたいと考えています。



大津中学校研究のあしあと

Plan

令和2年2～3月 カリキュラム・マネジメント
全職員で学校教育目標の設定



令和2年4月 カリキュラム・マネジメント
学校教育目標達成のための、4つの資質・能力を設定

研究の仮説 全ての教育活動において、キャリア教育の視点
(5年後に社会で自立できる生き方を育む視点)に基づく、4つの資質・能力の
育成を行えば、自ら未来を切り拓く力を身につけた生徒が育つであろう。

令和2年度

視点1:「解決する力」を
伸ばす、探究的な学びの
ある総合的な学習の時間

視点2:「見つめる力」・
「計画する力」を育む、
要としての特別活動・
特別の教科 道徳

視点3:「つながる力」を
高める、授業改善

Do

令和3年2～3月 カリキュラム・マネジメント
「本校で育成を目指す4つの資質・能力を
働かせている具体的な生徒の姿」を設定

	1年生	2年生	3年生
解決する力	与えられた課題に対し、 解決策を立案する姿	自らの課題を発見し、解決 策を講じる姿	情報を適切に処理しながら、 新たな課題を設定し、 意欲的に解決していく姿
見つめる力	自分(たち)の長所や短所の 両面を見つめる姿	他者の視点も取り入れな がら自分を見つめる姿	進路実現に向けて、自分 の良さを見つめ伸ばして いこうとする姿
計画する力	学ぶ意味や自分の役割を 理解する姿	学ぶ意味や自分の役割を 理解し、計画・改善する姿	学ぶ意味や自分の役割を 理解し、評価・改善した ことを将来に生かそうと する姿
つながる力	自分の考えをもち、他者と コミュニケーションをとる 姿	自分の役割を果たし、他者 とコミュニケーションを とる姿	他者とコミュニケーション をとることで、お互いの 成長を実感する姿

通年
年4回のキャリア教育アンケートを基にした、
教育実践の振り返りと計画の修正

Check

学校教育目標

自主・自律・挑戦

社会の中で自立して生き抜く力を身につけた生徒の育成

自ら未来を切り拓く力(本校が重点的に育成を目指す4つの資質・能力)

解決する力 見つめる力 計画する力 つながる力

令和3年度

Action

視点1:「解決する力」を伸ばす、探究的な学びの
ある総合的な学習の時間の実践

- 1 総合的な学習の時間で課題解決能力を伸ばす
- 2 新学習指導要領に沿った全教材の「探究学習化」
- 3 「熊本の学び」に沿った各種計画の作成
- 4 ふるさと大津を愛する3年間を系統化した地域教材



視点2:「見つめる力」・「計画する力」を育む、要と
しての特別活動の実践

- 1 キャリア・パスポートとキャリア・カウンセリング
- 2 合意形成・意思決定を図る話し合い活動の充実
- 3 一人一人のキャリア形成と自己実現の授業実践
- 4 自ら計画する、実行する、見直す学習



視点3:「つながる力」を高める、授業改善

- 1 熊本の学び推進プランを活かした「大津中の学び」の見直し
- 2 「つながる力」のレベルアップを目指した取組
- 3 一人一台端末を活用した個別最適化した学びの実践



「解決する力」（課題解決能力）を伸ばす 総合的な学習の時間

1 総合的な学習の時間で課題解決能力を伸ばす

「熊本の学び推進プラン」
第3章重点3

キャリア教育の視点をもった総合的な学習の時間

総合的な学習の時間部会では、本研究で高める4つの資質・能力のうち、主に「解決する力」をはたらかせる場面を設定しています。今年度から全面

実施された新学習指導要領が示す探究的な学びと「熊本の学び」を整理・統合しながら、キャリア教育の視点と合わせて学習を展開しています。



「思考ツールを利用して考えを整理する様子」

2 新学習指導要領に沿った全単元の「探究学習化」

「熊本の学び推進プラン」
第3章重点3

「探究的な学びのプロセス」に振り分ける

キャリア学習や人権学習など、今まで多岐にわたっていた総合的な学習の時間の単元の全てを、学習指導要領に合わせて「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・発表」

のサイクルとして体系化しています。それぞれの探究の過程で何を学習するのかを明確にし、再構築しています。

地域や社会

に関する探究学習

『大津町を知る』（1年）
『大津町の産業』（2年）
『将来の大津町』（3年）

自分や他者

に関する探究学習

『洪染一揆』（1年）
『水平社創立と西光万吉』（2年）
『統一応募用紙』（3年）

「本校の探究学習の二本柱」

3 「熊本の学び」に沿った各種計画の作成

「熊本の学び推進プラン」
第3章重点3

全体計画・単元計画・単元配列表を作成しています

教科横断的に学習活動に取り組んでいく総合的な学習の時間。どの教科のどの内容や資質・能力が総合的な学習の時間と関連しているのかを明らかにし、単元配列表としてまと

めています。総合的な学習の時間での学びが教科に生かされ、また、教科での学びが総合的な学習の時間に生かされるよう意図的に位置づけています。

総合的な学習の時間と各教科等の単元を関連付けた年間配列表			
	4月	5月	6月
総合的な学習の時間	教科書無償の	総合オリエンテーション	【自分や他者に関する探究学習】 「卒業文集最後の二行」 自分たちの課題を見つめ、今後どうしていくのか考えよう 個人人権スローガン 学級の課題を明らかにして探究

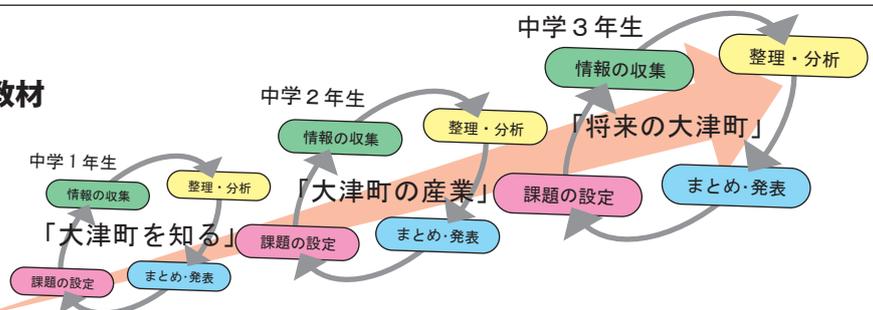
「単元配列表の例」

4 ふるさと大津を愛する3年間を系統化した地域教材

「熊本の学び推進プラン」
提言1・提言2

「大津町」をテーマにした3カ年計画の教材

1年教材「大津町を知る」2年教材「大津町の産業」3年教材「将来の大津町」。これらは系統的につながり、学年が上がるにつれて学びが深まります。探究的な学びの質も向上し、課題解決能力とその方法を身につけます。



「地域教材のスパイラル」

「見つめる力」(自己理解・自己管理能力) 「計画する力」(キャリアプランニング能力)を育む 特別活動

1 キャリア・パスポートとキャリア・カウンセリング

「熊本の学び推進プラン」
第3章重点3

キャリア・パスポートを基盤としたキャリア形成

これまでの自分を振り返り、成長できた部分や課題を把握し、これからの生き方をデザインしていきます。また、担任とキャリア・カウンセリングを行い、夢・目標を共有していきます。保護者にも協力してもらい、生徒・家庭・学校で三位一体となって、生徒のキャリア実現を図っています。



【キャリア・カウンセリングの様子】

学校行事 ()	※体育祭、合唱コンクール
(事前)	記入日
〇〇での目標(自分の役割など) ※理由も含めて	
目標を達成するために準備すること	
(事後)	記入日
目標を達成するために、がんばったこと、自分が成長したと思うこと	
今回の体験・経験を踏まえて、今後生かしていきたいこと	

【キャリア・パスポートの例】

2 合意形成・意思決定を図る話し合い活動の充実

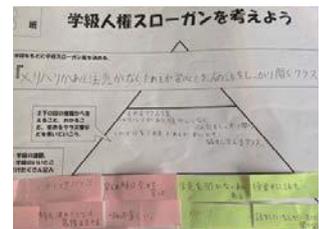
「熊本の学び推進プラン」
第3章重点4

話し合い活動を通して考えを深める

「傾聴・同意・安心できる場」を基盤とした話し合い活動に取り組んでいます。他者との意見交流を通して、自分の考えを見つめ直したり、多くの意見の中から学級の意見を構築したりするような合意形成・意思決定を行っています。



【学級会の様子】



【学級会のワークシートの例】

3 一人一人のキャリア形成と自己実現の授業実践

「熊本の学び推進プラン」
第4章重点1

主体的に将来設計に取り組む

学習指導要領学級活動の内容(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」の授業実践が効果的に行われるように、教材『中学生活と進路』を年間指導計画に位置付け、授業を行っています。また校内ハローワーク等、夢について考える機会に触れ、将来設計や生き方について考えていきます。



【校内ハローワークの様子】



4 自ら計画する、実行する、見直す学習

「熊本の学び推進プラン」
第5章重点2

能動的な態度で取り組む学習習慣づくり

各教科から提示される「家庭学習のポイント」をもとに、帰りの会に家庭学習の計画を立てます。定期テストにおいても各教科のテスト範囲や課題をもとに学習計画を立て、計画どおり進まない場合には計画の見直し、修正を行います。自分自身の学習を、自らデザインする活動を通して、目標を見据えて計画する力を身につけます。

増科	英語	学習時間	記録	一言感想
4/0	4/5			
4/6	4/11			
4/12	4/17			
4/18	4/23			
4/24	4/29			
4/30	5/5			
5/6	5/11			
5/12	5/17			
5/18	5/23			
5/24	5/29			
5/30	6/4			
6/5	6/10			
6/11	6/16			
6/17	6/22			
6/23	6/28			
6/29	7/4			
7/5	7/10			
7/11	7/16			
7/17	7/22			
7/23	7/28			
7/29	8/3			
8/4	8/9			
8/10	8/15			
8/16	8/21			
8/22	8/27			
8/28	9/2			
9/3	9/8			
9/9	9/14			
9/15	9/20			
9/21	9/26			
9/27	10/2			
10/3	10/8			
10/9	10/14			
10/15	10/20			
10/21	10/26			
10/27	11/1			
11/2	11/7			
11/8	11/13			
11/14	11/19			
11/20	11/25			
11/26	12/1			
12/2	12/7			
12/8	12/13			
12/14	12/19			
12/20	12/25			
12/26	12/31			
1/1	1/6			
1/7	1/12			
1/13	1/18			
1/19	1/24			
1/25	1/30			
1/31	2/5			
2/6	2/11			
2/12	2/17			
2/18	2/23			
2/24	2/29			
2/30	3/5			
3/6	3/11			
3/12	3/17			
3/18	3/23			
3/24	3/29			
3/30	4/4			
4/5	4/10			
4/11	4/16			
4/17	4/22			
4/23	4/28			
4/29	5/4			
5/5	5/10			
5/11	5/16			
5/17	5/22			
5/23	5/28			
5/29	6/3			
6/4	6/9			
6/10	6/15			
6/16	6/21			
6/22	6/27			
6/28	7/3			
7/4	7/9			
7/10	7/15			
7/16	7/21			
7/22	7/27			
7/28	8/2			
8/3	8/8			
8/9	8/14			
8/15	8/20			
8/21	8/26			
8/27	9/1			
9/2	9/7			
9/8	9/13			
9/14	9/19			
9/20	9/25			
9/26	10/1			
10/2	10/7			
10/8	10/13			
10/14	10/19			
10/20	10/25			
10/26	10/31			
11/1	11/6			
11/7	11/12			
11/13	11/18			
11/19	11/24			
11/25	11/30			
12/1	12/6			
12/7	12/12			
12/13	12/18			
12/19	12/24			
12/25	12/31			

【学習計画表の例】



【キャリア・パスポートを記述する様子】

「つながる力」(人間関係形成・社会形成能力)を高める 授業改善

1 熊本の学び推進プランを活かした 「大津中の学び」の見直し

「熊本の学び推進プラン」
第3章重点1・2

キャリア教育の実態を学習構想案に明記

単元の目標につながるキャリア教育の視点からの学びの実態を「生徒の実態Ⅰ」として学習構想案に記述しています。加えて、本単元の学びに特に関係する「本校が育成を目指す資質・能力の実態」を記述するとともに、その指導に当たっての留意点を「生徒の実態Ⅱ」に記述しています。

生徒の実態Ⅱ(キャリアの視点からの実態と、指導に当たっての留意点)	
A『つながる力』(人間関係形成・社会形成能力) ○5月に実施したキャリア教育アンケートの結果、4つの視点のうち、もっとも高かった力である。話を聞くとき、相手の気持ちや考えを受けとめようとするが、自分自身のことを相手に理解しやすいように工夫して伝えることは苦手である。	A『つながる力』(人間関係形成・社会形成能力) ○役割分担をして、協力し、諸資料の読み取りをする場面を設定する。分らないところは、班内で教え合いができるようにしたい。 ○地域の一員として、九州地方の課題に取り組み、自分なりの解釈を加えて自分の考えをまとめ、班の中で意見交換をさせたい。
B『解決する力』(課題対応能力) ○分からないところを分かるようになりたいという気持ちはあるが、自ら調べて解決しようとする意欲にはやや欠ける。 ○どのようにすれば、よりよく問題を解決できるかを考えることや自ら行動を起こすことが苦手な生徒が多い。このことは、i-checkの結果から成功体験が少なく、自己肯定感が低いことにも関連していると考えられる。	B『解決する力』(課題対応能力) ○生徒たち自身が生活している九州地方を取り上げることで、興味・感心を高め、身近な地域の課題を解決するために自分にできることを考えさせたい。 ○様々な統計資料や地図を比較・関連させ、資料から読み取ったことを、班で検証し、よりよいものに練り上げさせたい。

〔学習構想案における生徒の実態Ⅱの例〕

2 「つながる力」のレベルアップを目指した取組

「熊本の学び推進プラン」
第3章重点2

つながる力をすべての教科で

教科ごとに、「つながる力」を伸ばすためのポイントを整理しています。生徒に提示することで、生徒も意識することができ、自己評価を高めることができます。他教科のポイントを見て、教師側の意識向上にもつながっています。

〔教室に掲示したレベル表〕

「つながる力」のレベルアップ	
「自分の考えを明確に伝える」	Level 1 <自分の考えをもつことができた> Level 2 <自分の考えをそのまま伝えることができた> Level 3 <自分の考えを相手にわかりやすい言葉で伝えることができた(手帳に書き留める)>
「相手の意見(考え)を理解しようとする」	Level 1 <相手の話を傾聴の姿勢で聞くことができた> Level 2 <相手の話を聞いて、自分の考えを述べたり、相手の意見を自分の考えに引き入れることができた> Level 3 <相手の意見を踏まえ、自分の考えを伝えることができた>
「役割を果たし協働しながら学ぶ」	Level 1 <活動に参加することができた> Level 2 <自分の役割を果たすことができた> Level 3 <自分(たち)で役割を決め、活動をスムーズに展開することができた>

〔「つながる力」振り返りシート〕

「つながる力」Level up 大作戦 振り返り											
項目	1	2	3	項目	1	2	3	項目	1	2	3
「自分の考えを明確に伝える」				「相手の意見(考え)を理解しようとする」				「役割を果たし協働しながら学ぶ」			
「自分の考えを明確に伝える」				「相手の意見(考え)を理解しようとする」				「役割を果たし協働しながら学ぶ」			

週に1度の振り返りを実施。
次の週につながる。友だちから学ぶ。

〔各教科で設定したポイント〕

C 授業改善部会

「つながる力」を伸ばし、授業改善につなげる取り組み

話し合い活動

- ※相手の顔へ向き合い、相手をして、反応を行動で示す。【国語、家庭科】→**傾聴が大切**
- ※観察、実験での班活動を積極的にする。【理科】
- ※役割分担をして、協力し、諸資料を読み取る。【社会】
- ※ペアやグループで学習課題等について話し合い、アドバイスを行う。相手のことを考えた発言や仲間の意見に共感することを意識する。【保健体育】
- ※人の考えを借りたり、よせたりしながら、新しい考え(アイデア)を創り出す。【美術】

発表

- ※同じ内容でも自分の表現で発表したり、模範を示して、真似的な発表を促す。【国語、社会】
- ※発表を促す。相手の顔を見て、反応を見ながら発表する。【国語】
- ※「話すこと」自分の考えや気持ちをペアやグループで伝え合う。【英語】
- ※「読む」相手に伝わるような読み方を工夫する。【英語】
- ※「聞く」要点を理解だけでなく、相手の気持ちを考えたり、受け止めたりすることができる。【英語】
- ※発表した生徒への付け加え発表をする。【数学】
- ※聞き手のことを考えた発表。【家庭科】
- ※お互いの作品を鑑賞し合い、自分の考えや感情を色や形で表す。【美術】

「つながる力」

話し合い

- ※分からない⇒自分から聞く⇒他へ教えるのしくみで考えを深める。【数学、保健体育】
- ※分からないところを「教えて」と言える姿。【社会】
- ※なぜそうなるのかの理由を説明する。【家庭科】

発表

- ※ミニ発表【数学】
- ※感想、自分の意見を相手に伝えるように書く。【英語】

3 一人一台端末を活用した 個別最適化した学びの実践

「熊本の学び」アクションプロジェクト
柱1重点取組1・2・3

より「つながる力」の向上を、個人端末を用いて

「熊本の学び」アクションプロジェクトの柱に示してあるように、誰一人取り残さない学びの保障をすべく、端末の活用をしています。授業では、端末を使いながら、他者と考えを共有したり、それぞれの考えを分類・統合な

ど思考を広げたり、深化させたりする場面で活用しています。また、視覚的に説明することで、より他者を意識した発表につながっています。



〔タブレットを活用する様子〕



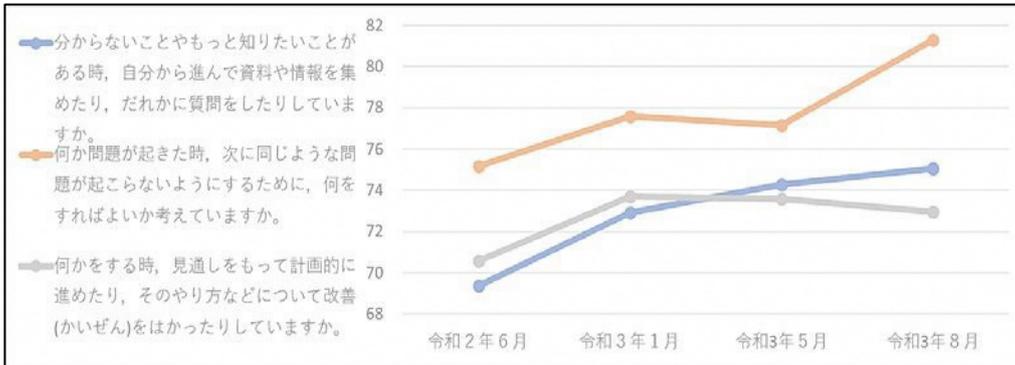
〔タブレットと電子黒板をつないで発表する様子〕

4 研究の成果と課題

(1) 4つの資質・能力から見た、生徒の変容について

本校で設定した4つの資質・能力について、次のような生徒の変容がそれぞれ見られました。
(グラフはキャリア教育アンケートのもの。回答をポイント化して百分率で表示)

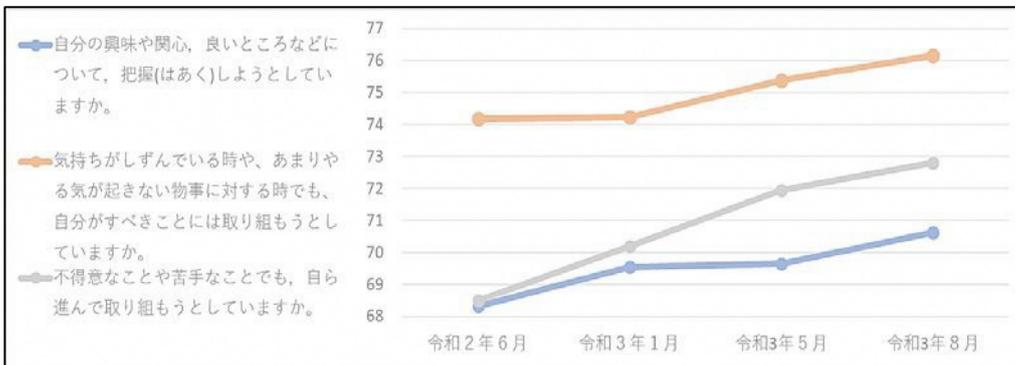
① 解決する力



総合的な学習の時間で、探究的な活動に意欲的に取り組む姿がよく見られるようになりました。

他にも、普段から国語辞典やタブレット、学校図書館を活用して調べようとする生徒が増えました。

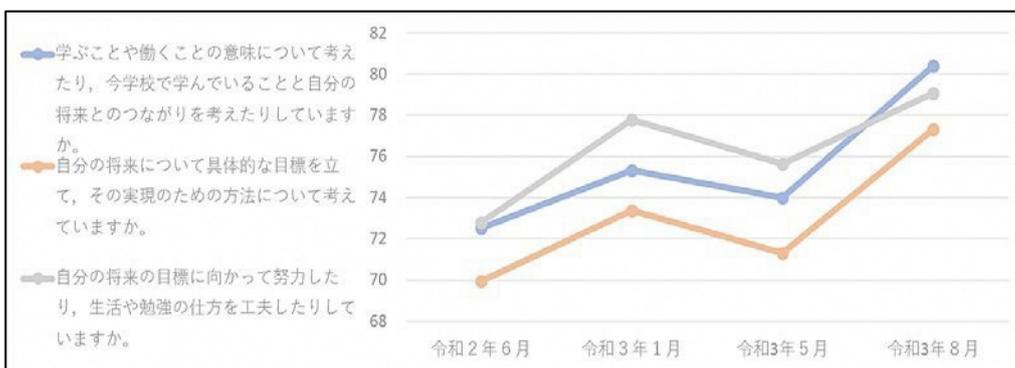
② 見つめる力



学校図書館で、自己の興味・関心や適性に関する書籍の貸し出し数が大きく増加しました。

また、家庭学習で苦手教科に重点的に取り組んだり、部活動で粘り強く練習に取り組んだりする姿が多く見られるようになりました。

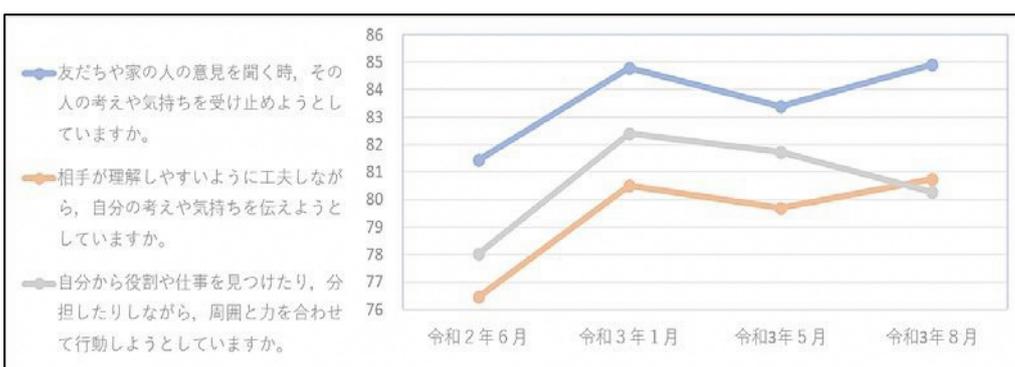
③ 計画する力



キャリア・パスポートや「大津町夢作文」で、将来の夢や目標を設定し、実現に向けた行動や工夫を具体的に記述できる生徒が増えました。

また、定期テスト・長期休業に向けて、計画を立てたりその内容を修正したりする生徒が増えました。

④ つながる力



学校生活で、相手の発言をじっくり聞いたり、相手の様子を踏まえて話し方や語句を調整したりする姿が多く見られるようになりました。

また、行事や係・委員会の活動、家庭で、役割分担しながら、協力する姿が多く見られるようになりました。

令和3年度全国学力・学習状況調査 生徒質問紙より肯定的な回答の割合(%)

(2) 各種学習状況調査生徒質問紙での変容

令和3年度全国学力・学習状況調査の生徒質問紙では、本校の設定した資質・能力に関わる項目で、全国・県平均を大きく上回ることができました(右図)。

これは、4つの資質・能力の育成が、本研究で図られたためと考えます。

また、令和2年度熊本県学力・学習状況調査での生徒質問紙(i-check)の設問「学校で学んだことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」でも、1年生の95.7%(全国比+6.5)、2年生の89.2%(全国比+6.5)が、肯定的な回答をしました。

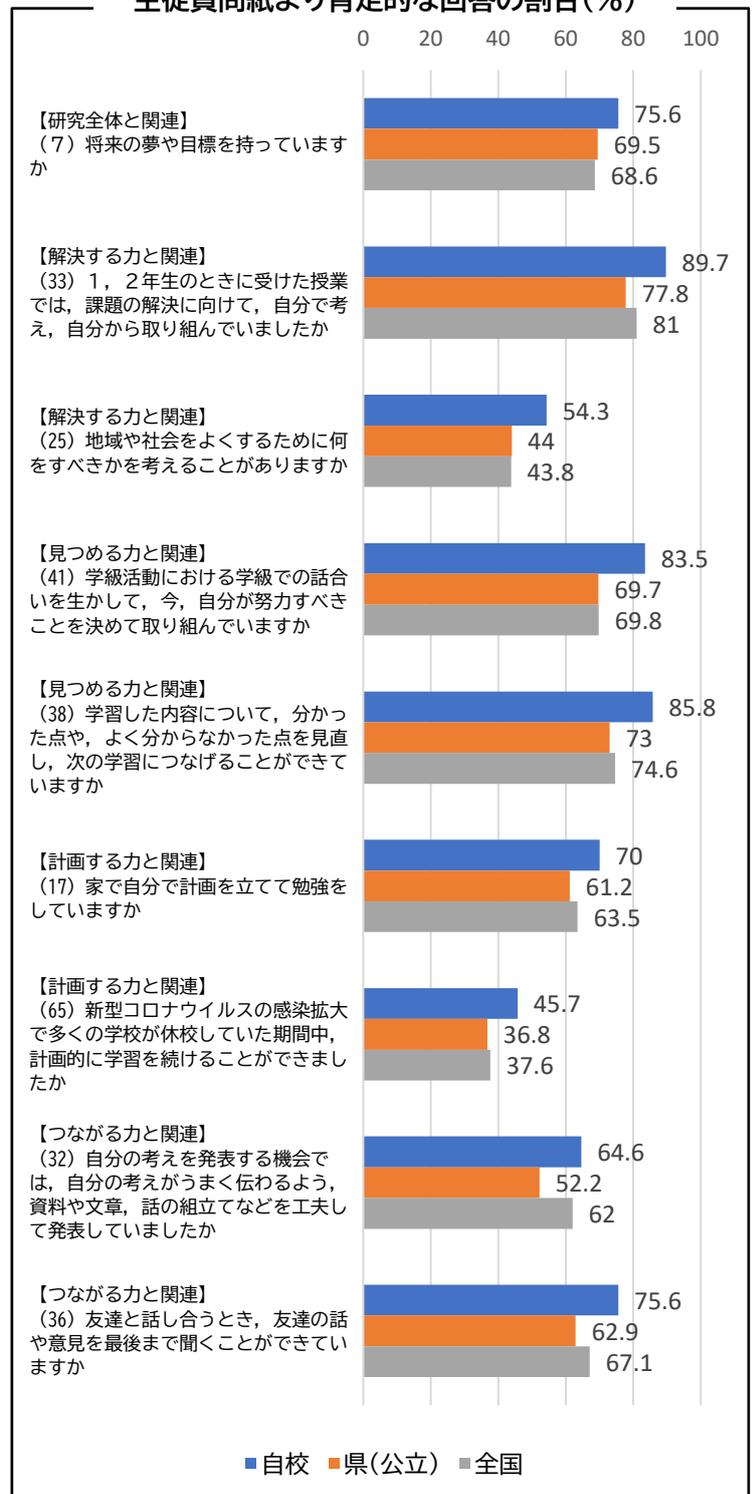
キャリア教育を推進し、熊本の学びの理念である「学ぶ意味を問いながら、能動的に学び続ける」ことの具現化を、本研究を通して進めてきた成果であると考えます。

(3) 今後の課題

本校で重点的に育成を目指す4つの資質・能力を定めましたが、現状の教育活動で有効な手立てが見出せなかったものや今後も継続して取り組む必要があるものが見出されました。

例えば、キャリア・アンケートで課題が見られた設問「自分の興味や関心、良いところなどについて把握しようとしていますか」等の設問では、学級活動で自他のよさを伝え合う機会を設けたり、キャリア・カウンセリングの声かけの内容を見直したりして、徐々に上昇させてきました。今後もこれらの取組の継続や、工夫改善を進めたいと考えております。

今後もキャリア教育を一層進めることで、熊本の学びの理念である『学ぶ意味』を問いながら、『能動的に学び続ける力』を身につけることの具現化を図りたいと考えます。そのために、生徒の姿を踏まえた教育活動の検証を行い、育成を目指す4つの資質・能力を更新しながら、より効果の高い教育課程の再編を推進したいと考えます。



研究同人

【令和3年度】	浦田安之	山口 徹	福島亮一	福田 勇	吉村多恵子	園村大地	臺ももか
藤山征太郎	梅北かつら	大谷美紀	舟津俊宏	野口恭子	富永節子	山本加代	中野真由美
甲斐真一郎	長野正樹	杉野紗映	上原正子	小島孝介	太田小咲稀	平田壮志郎	山本久仁子
齊藤綾子	石原あおい	工藤幸子	阿部りか	志水貴彦	潤井梨江	上田郁子	中野裕大
松山亜依	寺井裕加里	中川千春	西川典孝	木下亜希	荒木方子	後藤順子	松崎仁美
下村知可	宮本幸代	村上千扇	上妻友香	宮野 薫	今村美智代	山田真一郎	吉村修子
天野実紀子	川上さおり						
【令和2年度】	水上堅悟	星子和寛	浴永智美	前田純	新納里恵	松浦禎文	長野真由美
片岡恵子	萱野沙織	橋本理恵					

参考文献・資料

中学校学習指導要領(文部科学省)・中学校学習指導要領解説<総則・各教科等>(文部科学省)
 中学校キャリア教育の手引き(文部科学省)・学級・学校文化を創る特別活動【中学校編】(国立教育政策研究所教育課程研究センター)
 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料<各教科等>(国立教育政策研究所教育課程研究センター)
 熊本の学び推進プラン(熊本県教育委員会)・令和3年度大津町学校教育ビジョン(大津町教育委員会)
 キャリア教育で変える学校経営論(実業之日本社)・学級活動を核とした中学校キャリア教育(埼玉県中学校進路指導研究会)